## 受賞者のご挨拶

## 能代電設工業 株式会社 代表取締役 山田 倫 様

この度は栄誉ある中小企業振興表彰に選定いただき、誠にありがとうございます。昨今の厳しい世界情勢、経済環境の中で弊社の取組みと活動を評価いただきましたことに、社員一同並びに「日本海次世代エネルギー協議会」の仲間達を代表して心より感謝申し上げます。

25年程前、会社の将来の方向性を考え、自分達には今何ができるのかと考えたところ、これからは「環境」と「情報」の時代になるであろうという結論に至り、社員共々試行錯誤を重ねながら日々邁進してまいりました。

お陰様で、環境分野では下水道設備、清掃施設プラント、農業設備を含む揚排水機場プラント関連の機械器具設置、管工事、電気計装工事に従事し、情報分野では、情報表示板、気象観測装置、非常警報装置、CCTV(監視カメラ/防犯カメラシステム)などの電気通信工事を受注できるようになり、今では受注の約8割がこうした民間工事や公共工事になっています。

そして2020年には、地域経済の中心的な役割を担う企業として、経済産業省から「地域未来牽引企業」に認定されました。

この間、一緒に苦労を重ね、喜びを共にしてきた社員と協力会社の皆様、社員を支えていただいたご家族の皆様、弊社の成長を見守り、ご支援、ご教示いただいた諸先輩・同志・納品各社様・機器メーカー様、そして元請会社様とお客様の皆様方に改めて感謝申し上げます。

弊社では今、企業理念である「私達は、常にお 客様の信頼と満足を目指し、より質の高い工事



とサービスを提供します」のもと、地域と共に生きる総合エンジニアリング企業を目指し、幅広い分野・新しい分野に常に挑戦し続けています。そして「私達は、常にお客様の要望を的確に把握し、最大の努力と最高の技術で、お客様に満足と安心を与える工事とサービスを提供します」と「私達は、常にお客様と関連関係会社とのパートナーシップの維持向上に努め、互いの確かな信頼関係を確立します」の基本方針に基づき、常に互いを敬い、それぞれが常に問題意識を持って技術・技能の伝承と向上を推し進めながら、新分野の構築に向かって、人(社員)と会社がこれからも一緒に成長していきたいと思っています。

人(社員)と会社が互いに成長していくためには、社員と家族の幸せと健康を維持・増進していかなければなりません。このような社員の健康と働き方に配慮した取組みが評価され、2020年に秋田県版の「健康経営優良法人」認定に続き、2021年と2022年には国から「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に2年連続で認定されました。

今回の受賞理由の一つとして、再生可能エネルギー関連(風力、太陽光、小水力他)の建設・据付工事実績やメンテナンス業務実績を評価いただきましたが、この分野の仕事は、まだまだ始まったばかりであり、そしてこれからも続きます。弊社は、過去も現在も決して地域の産業振興に貢献できているわけではありません。ただし、これからの10年、20年、30年先、そして50年先に秋田で、東北で、日本や世界でこれからの再

生可能エネルギー関連分野の産業振興に若干で も貢献できることを夢見て、引き続き何事にも 情熱をもって向かってまいります。

「日本海次世代エネルギー協議会」は、2020年 9月に設立しました。海洋再生可能エネルギー 発電設備整備促進区域における洋上風力発電事 業について、対応可能な体制基盤の構築に向け て必要な協議を行い、また、次世代エネルギーに 関する学術研究及び教育機関の誘致、その他振 興に関する事項推進、地方活性化を目的として 発足しました。最初は能代山本地区の地元企業 8社が発起人となり、この組織を立ち上げ、弊社 もその中の1社として参画しています。いずれ は八峰能代、三種男鹿、秋田、由利本荘地域のみ ならず、新潟、山形、青森、北海道の日本海沿岸 地域全体で取り組み、多くの業種・企業を巻き 込んだサプライチェーンの構築を考えています。

協議会は、現在の陸上、着床式洋上風力だけではなく、次世代洋上風力と言われる浮体式洋上風力発電設備や水素利活用などを含めた再生可能エネルギーも学びながら取り組んでいきたいと考えています。これまで、セミナーの開催、再生可能エネルギー関係者との意見交換などのほか、行政からの情報収集や各地の将来のカーボンニュートラルにつながるような研究・実証試験施設見学も積極的に行っております。

協議会の名称にある「次世代」という言葉は、再生可能というエネルギーそのものの次世代と、次世代を担う若者たち(若手経営者)の両方を掛けており、30~40代の若い世代を主軸に彼らの行動力・実行力で活動を展開しています。そして彼らが将来そこに関わるすべての業種や企業と地域を巻き込みながら、人が潤い、地域が潤い、秋田県が潤い、そして、日本が潤い共生できる仕組みづくりを目指してもらいたいと願っております。

最後になりますが、先日の新聞記事に全国草原の里連絡協議会が主催する「未来に残したい草原の里100選」に、男鹿市の寒風山が選ばれたという記事が載っていました。全国に残る草原とその里に光を当てて次代に引き継ごうと、北海道から九州まで34か所を選んだ中の1か所に選定されました。ご承知のとおり標高355メートルの寒風山は、日本海に突き出た男鹿半島の付け根にあり、「山頂に向かう道路は寒風山パノラマラインと呼ばれるドライブコース。遮るものがない山頂付近からは八郎潟の水田、秋田県と山形県にまたがる鳥海山、青森県と秋田県にまたがってそびえる世界自然遺産の白神山地も見ることができる」と書いてありました。

この記事を見て、私は大変うれしく思いました。近い将来きっと、日本はもとより世界中から多くの方々が洋上風力を観に来る。寒風山から壮観な大パノラマの景色を観て、きっと感激すると思いました。また、鳥海山からも見渡してもらい、上からだけではなく、海から船に乗って洋上風力と素晴らしい山々を観てもらっても良い。いい温泉もいっぱいあるし、温泉に浸かって美味しい海のもの、山のものとお米を食べてもらって、日本酒も呑んでもらって、海釣り・渓流釣りを楽しんでもらって、山登りもしてもらって、冬はスキーもできるし、夏は有名なお祭りや花火大会も東北にはたくさんあるので、はしごで見学して帰ってもらえばいいなと思います。

こうして産業振興のみならず、観光、教育、漁業、農業とそこに生きる人たちが20年先、30年先にどうなっているかを考え、知恵を絞りながら、共生できる仕組みづくりに、微力ではありますが、貢献できればと社員一同並びに「日本海次世代エネルギー協議会」の仲間達と一緒に目指したいと思います。

本日は誠にありがとうございました。